

ローカルサイトエフェクト小委員会終了報告

【終了報告】

同小委員会は平成 8 年に 10 月に発足し、2 期 6 年間の活動を行なった。これまでの小委員会に係る平成 9 年度から 12 年度の活動状況は以下のとおりである。

[小委員会活動]

- 第 1 回小委員会（平成 9 年 9 月）
 - ・地震工学委員会研究小委員会公募、ローカルサイト・エフェクト研究小委員会運営要領（暫定）
 - 第 2 回小委員会（平成 9 年 10 月）
 - ・委員紹介、ローカルサイト・エフェクト研究小委員会名簿（案）・研究小委員会委員長・幹事長選出
 - 研究テーマに関する話題提供・表層地盤解析への BEM の応用（茂木秀則委員）・表層地盤解析への FEM の応用（鈴木崇伸委員）
 - 第 3 回小委員会（平成 10 年 1 月）
 - ・甲府盆地における地下構造と地震動特性（年縄委員）・神戸市域の二次的表面波の分析（片岡委員）
 - 第 4 回小委員会（平成 10 年 3 月）
 - ・特別講演（東北工業大学電子工学科長 千葉二郎教授）・強震観測とローカルサイト特性（神山眞委員）・足柄平野久野観測点（小田原）の入射波動場と地盤増幅特性（佐藤清隆委員）
 - 第 5 回小委員会（平成 10 年 5 月）
 - ・物理探査による地下構造調査について（松原委員）・深部地盤構造モデルの解析について（原田幹事）
 - 第 6 回小委員会（平成 10 年 7 月）
 - ・強震動作用時の乾燥砂地盤の模型振動実験およびシミュレーション解析（坂下委員）・常時微動観測結果をもちいた最大水平速度増幅特性の評価（前島委員）
 - 第 7 回小委員会（平成 10 年 9 月）
 - ・シンポジウム原稿の目次（案）執筆要領について・差分法による地震波伝播解析（吉見雅行委員）
 - ・移動震源による段差状不整形地盤の地震動増幅特性（永野委員）
 - 第 8 回小委員会（平成 11 年 3 月）
 - ・シンポジウムでの質疑応答を踏まえた今後の進行について議論
 - 第 9 回小委員会（平成 11 年 5 月）
- ローカルサイトエフェクトの定義
- 不整形地盤の地震応答に関するアニメーション（神山委員）
- 各種構造物の耐震設計におけるローカルサイトエフェクト（三輪、片岡、鈴木猛委員）
- 第 10 回小委員会（平成 11 年 7 月）
- 被害地震にみられるローカルサイトエフェクトと被害構造物
- ・宮城県沖地震（岩楯委員）・釧路沖地震（佐藤清隆委員）・メキシコ地震（吉見委員）
 - ・ロマプリアータ地震（中村委員、伯野委員）・ノースリッジ地震（伯野委員）
- 第 11 回小委員会（平成 11 年 9 月）
- ローカルサイトエフェクトの評価法と設計入力地震動（清野委員、原田委員）
- 第 12 回小委員会（平成 11 年 11 月）
- ローカルサイトエフェクトの評価法と設計入力地震動（秋山委員、前島委員、片岡委員）
- 第 13 回小委員会（平成 12 年 1 月）
- ・原稿目次と執筆者の確認・話題提供（竹宮委員長）
- 第 14 回小委員会（平成 12 年 3 月）
- 一次原稿の確認と検討
- 第 15 回小委員会（平成 12 年 5 月）
- ・土木学会誌でのワークショップ開催案内の原稿提出・原稿の読み合わせ
- 第 16 回小委員会（平成 12 年 5 月）
- ・土木学会誌でのワークショップ開催案内の原稿提出・ローカルサイトエフェクトの定義について議論

第17回小委員会（平成12年9月）

・ワークショップ発表と議事進行の最終確認

[開催された主な行事]

シンポジウム 1回（平成10年12月14日）

ワークショップ 1回（平成12年10月13日）

[主な成果]

シンポジウムおよび特にワークショップ（CD-ROM 付）の成果報告書に纏められている主な内容は、・ローカルサイトエフェクトの定義、・被害地震・強震記録に認められる増幅特性、・高度化された解析手法による波動の伝播増幅、・構造物の設計における地盤内増幅の現状、・今後の構造物の設計への導入の提案、を成果の中心に据えている。設計基準の改定を提案する段階の成果とはいえないが、地震工学委員会が提言するレベル2地震動にもとづいて対象構造物の支持地盤における地震動を評価する場合に、実務者が地震動の地盤内増幅を考える参考書として使用できる、必要となる専門知識の全容をとりまとめた内容に匹敵すると考える。